

余剰在庫や不用品を 価値のあるものへ

注目高まるアップサイクル

繊維・ファッション業界でアップサイクルが注目されている。たんに眠る服や余剰在庫をクリエイションと技術力で生まれ変わらせる、ファッション産業らしい循環型社会の取り組みだ。消費者の環境への意識の向上やカスタマイズ・オンリーワンに価値を見いだす傾向にも応え、新品を作って売らただけではない、新しい提案として広がりを示す。(藤田知佳子)

より省エネに
サステイナブル(持続可能)
プスはアップサイクルについて

その先に「廃棄のない仕組み」



コムデギャルソンは東京本社で、「コムデギャルソン」と「フール・ケイ・ニノミヤ」のフイジカル(リアル)のファッションショーを行う。ファッション界のトレンドを先取りする。

スガ重なり、薄うアテムムと変わる。クリフリンデイトールのブラックドレスは、そのディテールとは裏腹にクラフィカルな雰囲気。どこかクラウンズをイメージさせる。黒

ファッションが切り口のアドストリア「フロムストック」(上)、長く大切に服を着る提案をする伊勢丹新宿本店の「リ・スタイル」

ユリが並んでいる。暗転した空間に登場するのは、得意のハンドクラフトの装飾ドレス。しかもキラリと輝くメタリックなパーツの装飾だ。クラウンズをイメージさせる。黒

「アップ」や循環(サイクル)という良いイメージがあり、言葉としての普及も手伝って広げられるようになった。

注目の果実め

アダストリアは20年春に大量生産・消費・廃棄問題に対する新たなアプローチとして「フロムストック」を立ち上げた。社内外のリソースを組み合わせてオープンイノベーションを推進するアダストリア「イノベーションラボ」が運営する。

「捨てるのはもったいない」を再利用すること。質の向上を伴う再利用のことを指す。デッドストックの素材や在庫商品などを回収して利用することも含まれる」と定義している。

ワークマンでは様々な仕事に期限を設けず、やること決めてたことは時間をかけても必ず達成する経営を旨としている。

伊勢丹新宿本店の「リ・スタイル」では21年春から、京都絞付のプロジェクト「K」と協業して、着られなくなった服を黒染めし、もう一度着られるように生まれ変わらせるサービスを始めた。お気に入りの着を長く大切に着るための新しい選択肢を提供し、サステイナブルな社会の実現に貢献する。

バックなど、ニットなどの廃棄物を材料として再利用するアップサイクルも盛んだ。

価値の高い商品になるという点、もう一つは各ブランドが抱えている余剰在庫の処理の可能性を秘めている点。アップサイクルは出てしまった不用品を再活用する仕組みであり、目指す未来は廃棄物の出ない物作りだと思いが、サステイナブルファッションを目指す第一歩としては良い取り組み」と話す。

パツデッドアイテム勢揃い



トッズ

記事は6、7、12面に

ワークマンでは様々な仕事に期限を設けず、やること決めてたことは時間をかけても必ず達成する経営を旨としている。

ワールドがロス
フラワーアート展
ワールドは、フラワーデザインチームのグイと協業して3月26日〜4月1日、東京・北青山ビル1階正面でロスフラワーアート展「ホープ・フォー・ハー

短期待目標を多く掲げる。ほとんどの会社はタメになる。社員は過度なプレッシャー

SENKEN

2021年
(令和3年)
3月24日
水曜日

織研新聞社

発行所
〒103-0015 東京都中央区
日本橋箱崎町31-4

編集局
03・3664・2341
業務局
03・3639・8030
大阪支社
06・7639・0570
名古屋支社
052・231・2600
九州支局
092・761・6131
上海支局
+86・(0)21・6249・8300
ご購読は☎0120-559801



ファッション業界の
求人情報なら
Senken
JOB!
織研
求人情報
紙面の掲載情報にアクセス
Webのみ掲載プランも新設
織研新聞社 / 業務局
career@senken.co.jp
www.senken.co.jp/career

きょうの紙面

動画を活用した新サービス
総合 ファナティック ②

多様化する商品受け取り方
デジタル 店舗やコインロッカーも ③

足元商圏の集客へ地域対策
流通 大型商業施設 ⑤

動画配信でファンつかむ
新興・個性派 「オープニング・アクト」 ⑩

想像かき立てる物語仕立て
トレンド 楽天F W東京21年秋冬 ⑫

企画・特集

21~22年秋冬デザイナーコレクション ⑥⑦
地域流通—東海・北陸 ⑧
データファイル ⑩
きょうから合同展プラグイン ⑪

東京・恵比寿のエビ
ス3003イベントホー
ルで3月26日まで。